

平成29年 救助統計



は じ め に

この統計は、天童市において平成29年に救助工作車等が出動した実態を分析し、今後における円滑な救助業務の推進に資するとともに、市民の理解と協力を得るために作成したものです。

目 次

	ページ
救助事故等の種別・区分に使用される用語について	1
1. 事故種別出動件数	2
2. 月別出動件数	3
3. 曜日別出動件数	4
4. 時間帯別出動件数	4
5. 救助活動により救助した件数・人員	5
6. 活動により使用した資機材	5
7. 救助隊員の訓練実施状況	6
8. はしご車の訓練実施状況	7

救助事故等の種別・区分に使用される用語について

この統計の用語、分類等については、総務省消防庁の『救急事故等報告書要領』を準用しております。

1. 「火 災」

火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

2. 「交通事故」

すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

3. 「水難事故」

水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

4. 「風水害等自然災害事故」

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害事故をいう。

5. 「機械による事故」

エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

6. 「建物等による事故」

建物、門、柵、塀等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

7. 「ガス及び酸欠事故」

一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

8. 「破裂事故」

火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

9. 「その他」

1 から 8 に掲げる以外の事故等で、消防機関による救助を必要とした事故をいう。

1 事故種別出動件数

平成29年の救助出動件数は35件で、前年と比べると1件増加となりました。

1ヶ月の平均出動件数は、昨年と比べると増加し2.97件でした。

出動件数を事故種別ごとにみると、火災による出動が8件(22.9%)、交通事故が11件(31.4%)、建物等による事故が8件(22.9%)、機械による事故が1件(2.9%)、その他の事故が7件(20.0%)となっています。

() 内数字は平成28年

事 故 種 別			
火 災	建 物	4	(3)
	建 物 以 外	4	(6)
交 通 事 故		11	(10)
水 難 事 故		0	(0)
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故		0	(0)
機 械 に よ る 事 故		1	(2)
建 物 等 に よ る 事 故		8	(4)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		0	(0)
破 裂 事 故		0	(0)
そ の 他		7	(9)
合 計		35	(34)

2 月別出動件数

月別の件数をみると、1月が6件と最も多く、次いで12月が5件、8月が4件となっています。1件当たりの出動人員は5.2人、出動台数は1.5台となっています。

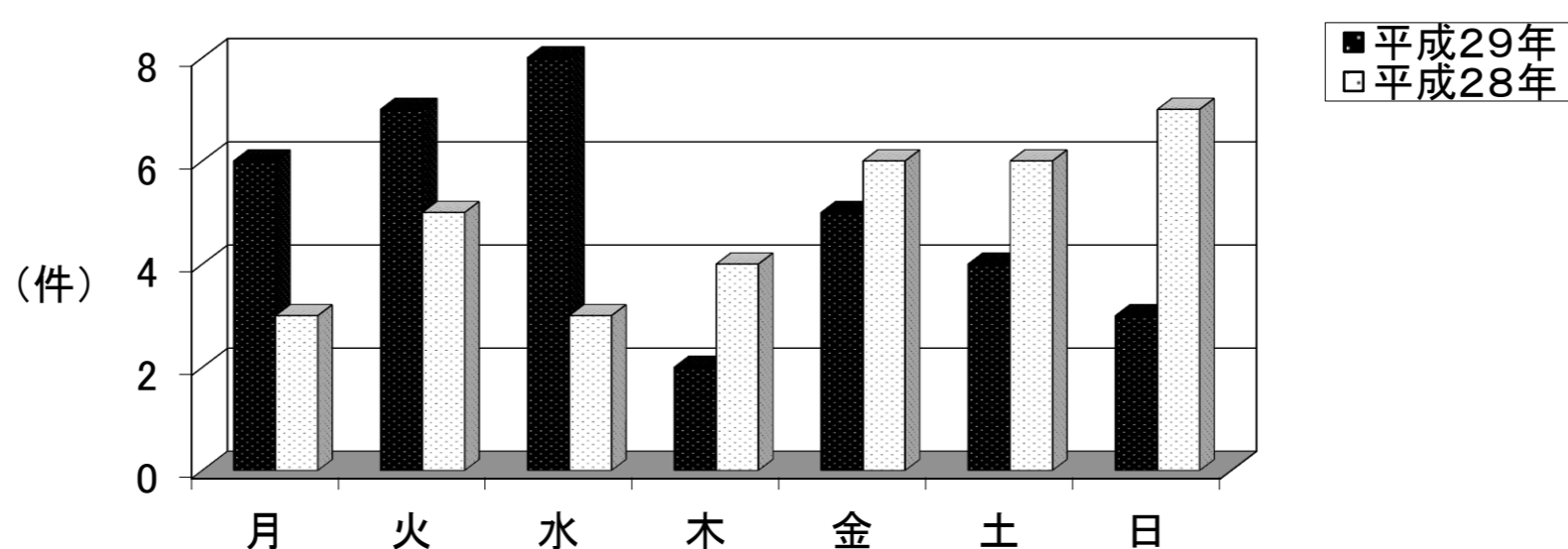
() 内数字は平成28年

月別	出動件数	事故種別									出動人員	出動台数
		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他		
1	6 (5)	0 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	38 (34)	10 (10)
2	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	3 (14)	1 (4)
3	2 (6)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	16 (37)	4 (11)
4	3 (5)	1 (3)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	15 (31)	4 (9)
5	3 (2)	3 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (14)	6 (4)
6	3 (1)	0 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	17 (3)	5 (1)
7	3 (4)	2 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	19 (27)	6 (8)
8	4 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	15 (8)	5 (2)
9	1 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (12)	2 (3)
10	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (0)
11	3 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (7)	3 (2)
12	5 (4)	1 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	17 (25)	5 (7)
合計	35 (34)	8 (9)	11 (10)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	8 (4)	0 (0)	0 (0)	7 (9)	183 (212)	52 (61)

3 曜日別出動件数

出動件数を曜日別にみると、水曜日が8件（22.9%）と最も多く、次いで火曜日が7件（20.0%）で、月曜日が6件（17.1%）金曜日が5件（14.3%）、土曜日が4件（11.4%）、日曜日が3件（8.6%）、木曜日が2件（5.7%）となっています。（ ）内数字は平成28年

曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
出動	6	7	8	2	5	4	3	35
件数	(3)	(5)	(3)	(4)	(6)	(6)	(7)	(34)



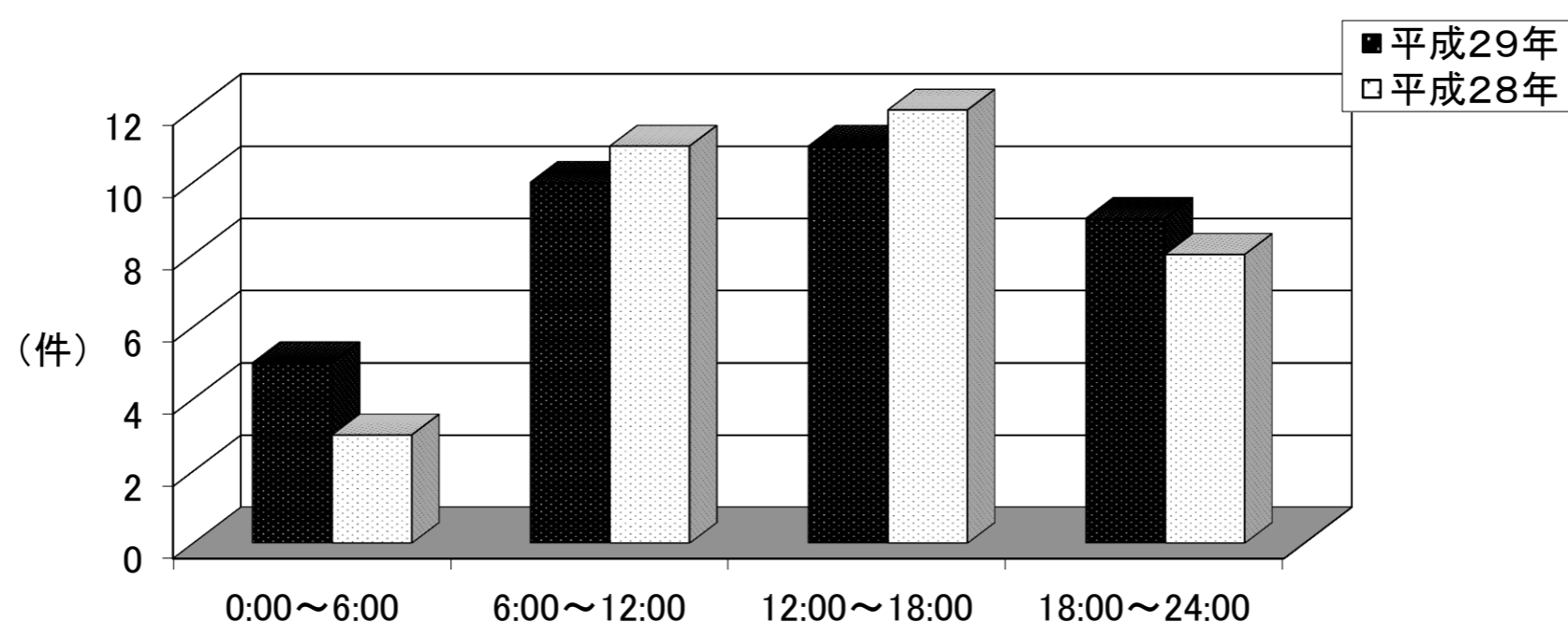
4 時間帯別出動件数

出動件数を時間帯別にみると、12時から18時までの時間帯が最も多く11件（31.4%）発生しています。次いで6時から12時まで10件（28.6%）、18時から24時までの9件（25.7%）、0時から6時までの5件（14.3%）と続きます。

日中の時間帯（6時から18時）の出動が21件と全体の60%を占めています。

（ ）内数字は平成28年

時間帯	0:00～6:00	6:00～12:00	12:00～18:00	18:00～24:00	合計
出動	5	10	11	9	35
件数	(3)	(11)	(12)	(8)	(34)



5 救助活動により救助した件数・人員

出動件数35件のうち、救助活動を実施した件数は19件（前年12件）で、全体の54.3%になります。救助した人員は20名（前年12名）でした。

交通事故での救助者は8名で、全救助者の40.0%となっています。

（ ）内数字は平成28年

事故種別	救助活動件数	救助人員
火災	0 (0)	0 (0)
交通事故	7 (3)	8 (3)
水難事故	0 (0)	0 (0)
風水害等自然災害事故	0 (0)	0 (0)
機械による事故	1 (1)	1 (1)
建物等による事故	5 (4)	5 (4)
ガス及び酸欠事故	0 (0)	0 (0)
破裂事故	0 (0)	0 (0)
その他	6 (4)	6 (4)
合計	19 (12)	20 (12)

6 活動により使用した資機材

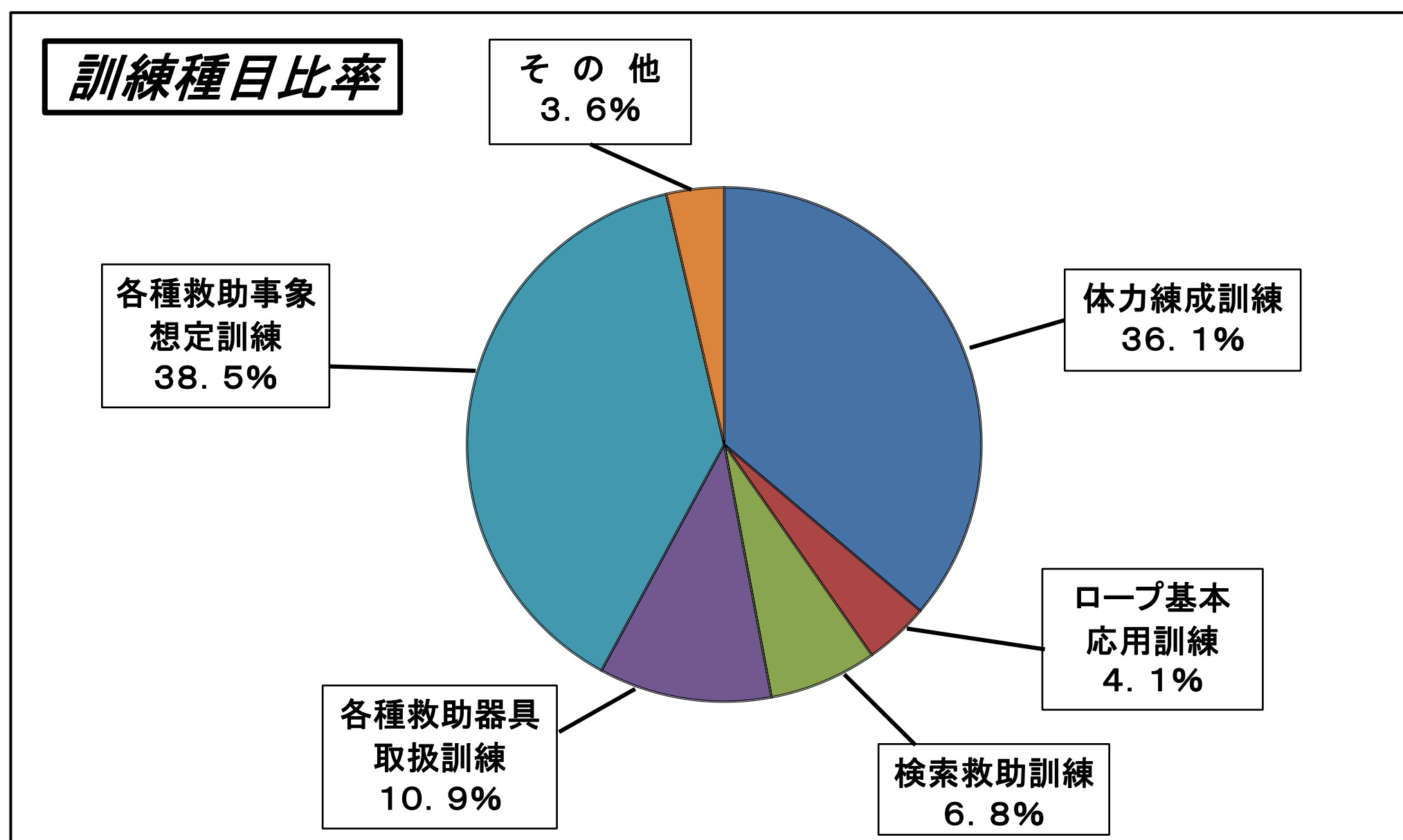
火災出動で使用した資機材は、三連はしご・空気呼吸器・熱画像直視装置・投光器等が多く、また、交通事故の出動には、大型油圧切断機や大型油圧スプレッダー・ロープ等を使用しています。また、建物による事故には、三連はしご・担架・ロープ等を使用しています。

資機材	使用回数	資機材	使用回数
一般救助用	11	呼吸保護用	3
三連はしご ロープ・カラビナ 等 縛帯・担架 救助マット 等		空気呼吸器 防塵マスク 送排風器	
重量物排除用		隊員保護用	
油圧ジャッキ 大型油圧スプレッダー 可搬式ウィンチ マット型空気ジャッキ 等	3	安全帯 化学防護服 等	35
切断用	8	水難救助用	2
大型油圧切断機 エンジンカッター チェーンソー 鉄線カッター 等		救命ボート 胴衣・浮環 等	
破壊用		高度救助器具 熱画像直視装置 等	
ボール・斧 等	3	その他の救助器具	7
測定用	0	投光器一式 携帯投光器・拡声器 応急処置セット	
可燃性ガス測定器 等			その他
		記録用カメラ 等 安全ベスト 等	

7 救助隊員の訓練実施状況

救助隊員の訓練は、災害が発生した場合に安全・確実・迅速に救助活動が行えるよう、各種救助事象想定訓練を中心に様々な訓練を行っています。

訓練種別 \ 区分	実施回数	実施人員	1回当たり参加人員	実施時間
体力練成訓練	80	491	6.14	155時間10分
ロープ基本、応用訓練	9	76	8.44	13時間15分
検索救助訓練	15	116	7.73	21時間10分
各種救助器具取扱訓練	24	143	5.96	32時間40分
各種救助事象想定訓練	85	610	7.18	113時間20分
その他	8	52	6.50	5時間35分
合計	221	1488	6.73	341時間10分



8 はしご車の訓練実施状況

区分 訓練種別	実施回数	実施人員	1回当り 参加人員	実施時間
基本応用操作訓練	25	112	4.48	16時間35分
防火対象物・架梯訓練	3	11	3.67	4時間00分
月間点検	7	30	4.29	3時間55分
各種想定訓練	11	45	4.09	8時間00分
見学・その他	29	132	4.55	16時間25分
合計	75	330	4.40	48時間55分

